

雑感

小さな用心

白根警察署長 小林 与次



ここ数年、事故は減少していますが、過去十年間を調べてみると、死者は百四人、負傷者は二千九百七十四人と、いかに多くの人が悲惨な事故にあわれているか、恐ろしいものがあります。

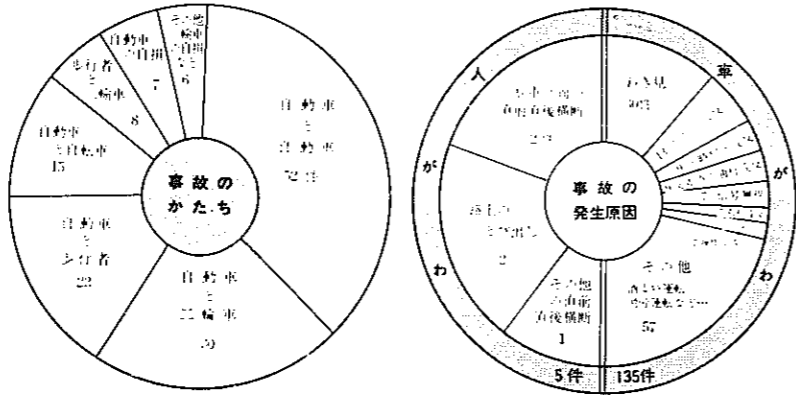
今年度の事故の状況はこれまでの減少から一転して増加の傾向を示し、すでに死者一人、今後心配される情勢です。

交通事故は人災

交通事故は、いろいろなことがからみあって起きていますがつきつめますと、お互いのル

ル違反や不注意が大きな原因で人災だといえます。とくに恐ろしいのは、飲酒運転と速度の出し過ぎです。「これくらいは」「自分だけは」という甘えから飲酒運転をする。あるいは運転の慣れから速度を出し過ぎて、さげきれないなどから大きな事故を起こしています。また、歩く人では道路の横断で安全を確かめないことや、と

び出しながら原因で、多くの事故が起きています。一歩家から出れば、そこは交通の場であり、私たちは交通なくしては暮らせません。そして安全円滑な交通は、みんながルールを守り、小さな用心をすることが一番大切です。悲惨な事故を起こさないようまた、事故にあわないようお願いします。



そして自動車
ルールを知らなくては免許証がもらえなかつたはずなのに、安全運転を怠つたための事故が何と多いことでしょうか。まして、歩行者や自転車。とくにお年寄り、子どもなど弱い者をまきぞえにして……。「飲んだら乗るな」は耳にタコができるほど聞かされることば。でも、酒よい運転が絶えませんが、さらに徹底を。事故を起こして「道路が悪かったのだ」とうそぶく人もいるとか……。県内の統計では事故の九七％は舗装道路でのもの。また、欠陥のない道路での事故が八二％もありました。要は、あなたの心がまえ一つです。

感じるままに……



筒 真保さん (主婦)

スピードはひかえ目にして

孫を自転車に乗せ、保育園の送り迎えをしているんですが、時々ヒヤッとすることがあります。道幅がせまいのスピードを出す人が多いようです。とくに若い人たちからは注意してほしいです。



庄 瀬 佐藤次郎さん (指導員)

自転車遊びに注意を

地元の人より、よその人の無謀運転が目立つようです。それに、高校生のバイク通学はなんとかならないものなのでしょうか……。見ているとあぶなっかしくて。各家庭で、幼児の自転車遊びについて、もっときびしく教育してほしいと思います。



油断大敵！ 小林関蔵さん (幼稚園マイクロボス運転手)

油断大敵！

昨年の九月から、この仕事に ついたんです。仕事上、イライラしていたんでは、しょうがないからネー。私は、歩行者は子どもと同じように見えているんですよ。でも自転車や急なとび出しには、注意しています。それと、油断することがいばんこわいですね。

まだあなたの注意で交通事故は減らせます



昨年一年間の白根警察署管内で起きた、交通事故の状況がまともりました。それによると、件数は百四十件。うち死者一人、負傷者は百九十五人と、いずれも一昨年より減っています。

こわい事故への不感症

小林白根警察署長は「数字のうえでは減っているとはいっても、安心はできません。国道という核弾頭をかかえていますからね」。そのうえ「事故防止の呼びかけに不感症になることが一番恐ろしい」とも……。「おれは事故

を起こしたことも事故にあったこともない」と自信過剰のあなた！

でも、こんなことでヒヤッとしたことありませんか。——いい調子で運転していたら子どもがとび出してドキッと……。

——自転車で右へ曲がろうとしたら、後ろで急ブレーキの音が……。

ふだん交通量が少ないので、何げなく横断しかけたら……。ほんとうに間一髪でした。事故は、場所や時間、人を選びません。いつ大惨事につながるかも……。

それぞれが自覚がキメ手

昨年の交通事故の内容を、円グラフにまとめてみました。

幼児や小学校低学年に多いとび出し

保育園や学校などで「右を見て、左を見て、また右を見て」と教えられても、何かに夢中になるとつい……。一日一回は、家族全員でルールを確かめ合ひましょう。

お年寄りの自転車

昔からこんな調子で……とばかり、右へ曲がるにも後ろを見ずにすいすいと。お年寄りばかりではありません

若者のバイク

とみに増えています。かっこのよさだけでスピードにうのは、人の迷惑を考えないわがまま。そして事故へ——わが青春に悔いあり。

